

国語採点基準

(  
総  
点  
100  
点)

**国語採点基準**  
(総点100点)

[注意]

- 1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
- 2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
- 3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
- 4 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
- 5 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題

正

答

配点

5

4

3

2

1

※ 3 表現・表記	2 1 内形 (評価の観点) 式	5										4					3					2					1					問題
		6	5	4	3	2	1	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	7	6	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
これら	目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。 テーマについて自分の考え方とその理由が明確に表現されているか。 話題が適切で説得力があるか。 文体に統一性や妥当性があるか。 主述関係や係り受けなどが適切であるか。 語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。 各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。	ウ	(例) の北島 感君 謝の の気す 持ば ちら が、い 込伴 み奏 上に げ対 たす かる ら。動 と彼 へ	(例) 身体 はも う勝 手に 動い ていた。 ア	工	ウ	ア	イ	(例) 性一 や自 然觀 識「 をの 表根 現し して いる、 る点 私。た ち人 間の 感受	(例) 人間 とに と逃 げた と思 つた のに、 もとの 場所に い	(例) 遠く 間に とつ げた と思 つた のに、 もとの 場所に い	(例) たと くに とつ げた と思 つた のに、 もとの 場所に い	イ	いうよう	不 イ ウ イ エ	招待	額	芽	故障	冷(やす)	まいしゅう	とどこお(る)	こんしん	はげ(む)	まぎ(れる)	問題						

20

4

4

3

4

3

2

4

4

4

4

4

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

20

20

10

30

〔注意〕

- この配点は、標準的な配点を示したものである。  
定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。  
指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。  
定められた数より多く答えたときは、点を与えない。  
採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

評価の観点		式容内形123	評価の観点
目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。	テーマについて自分の考え方とその理由が明確に表現されているか。	話題が適切で説得力があるか。	文体に統一性や妥当性があるか。
語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。	主述関係や係り受けなどが適切であるか。	これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。	